

2012年2月期第2四半期決算説明会



ONLY ONE
1

代表取締役社長 渡辺 恵一

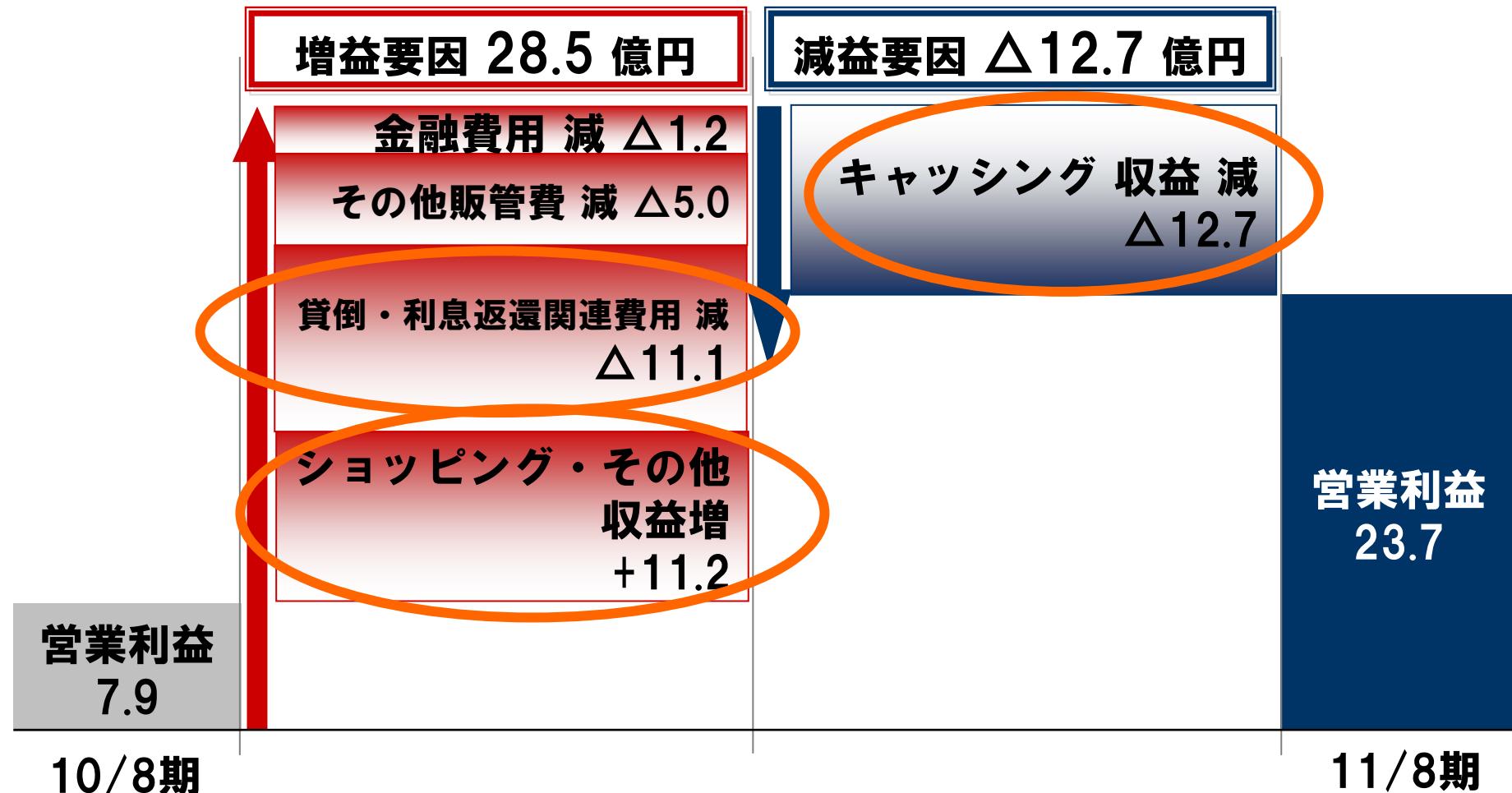
単位：百万円

	11年8月期	前年同期差	前年同期比	<参考> 9/16修正予想
① 営業収益	18,121	△149	△0.8%	18,100
② 営業利益	2,369	+1,579	+199.9%	2,300
③ 経常利益	2,321	+1,526	+192.1%	2,300
④ 四半期純利益	1,831	+1,000	+120.3%	1,800

※当期より連結財務諸表を作成しているため、前年同期との比較対象として
個別財務諸表の数値を使用しております。

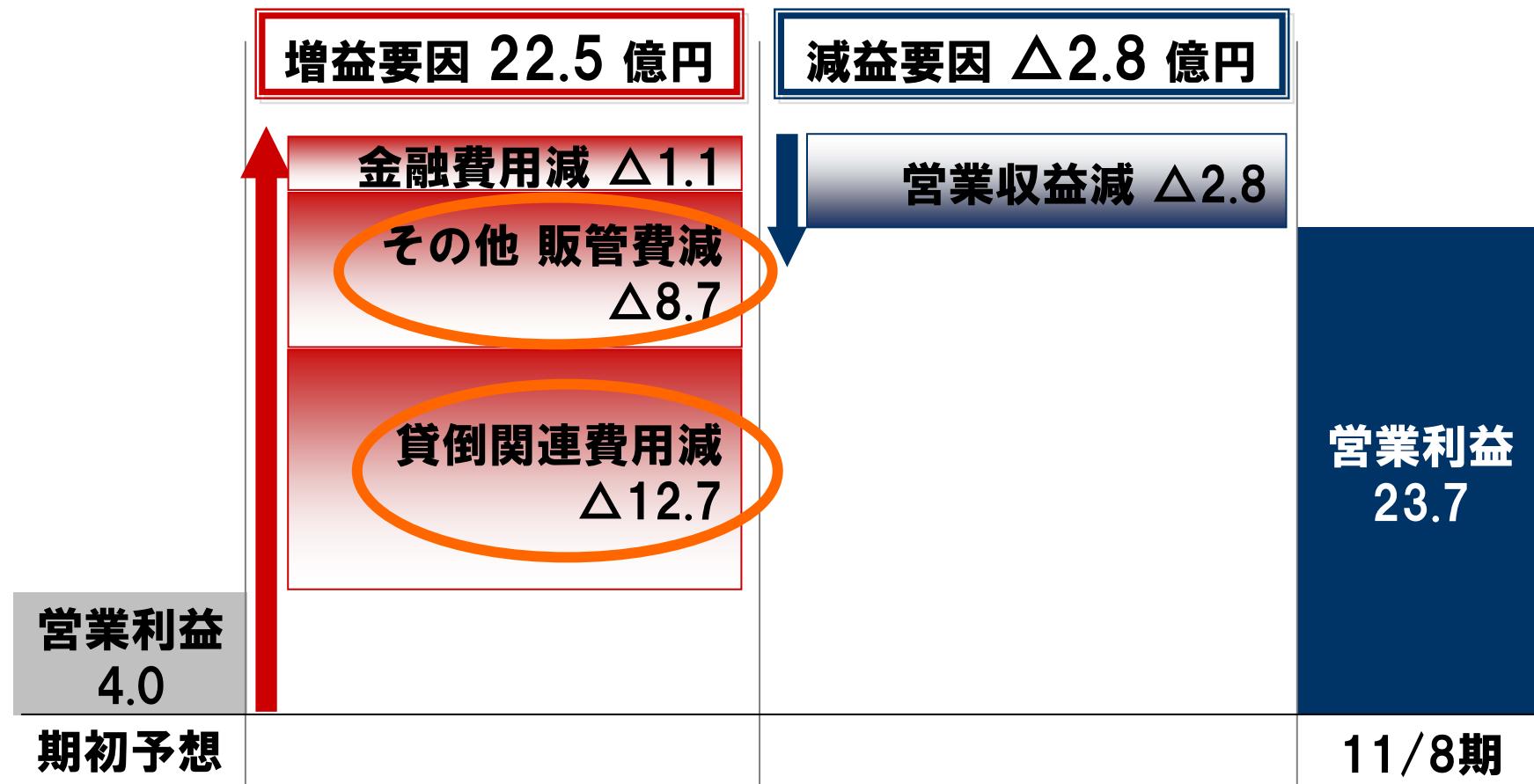
前年同期差異要因

	10年8月期	11年8月期	前年同期差
営業利益	7.9 億円	23.7 億円	+15.8 億円



期初予想差異要因

	期初予想	11年8月期	差異
営業利益	4.0 億円	23.7 億円	+19.7 億円



単位：百万円

	項目	11年8月期	前年同期差	前年同期比
①	信用購入あっせん	182,259	+41,785	+29.7%
②	融資	16,227	△7,880	△32.7%
③	その他	1,688	+179	+11.9%
④	取扱高合計	200,175	+34,085	+20.5%

※当期より連結財務諸表を作成しているため、前年同期との比較対象として
個別財務諸表の数値を使用しております。

単位：百万円

項目	11年8月期	前年同期差	前年同期比
① 割賦売掛金※1	123,480	+42,626	+52.7%
② 営業貸付金※1	105,265	△11,100	△9.5%
③ 債権残高合計	228,745	+31,526	+16.0%

※1.債権流動化分を含む

※2.当期より連結財務諸表を作成しているため、前年同期との比較対象として
個別財務諸表の数値を使用しております。

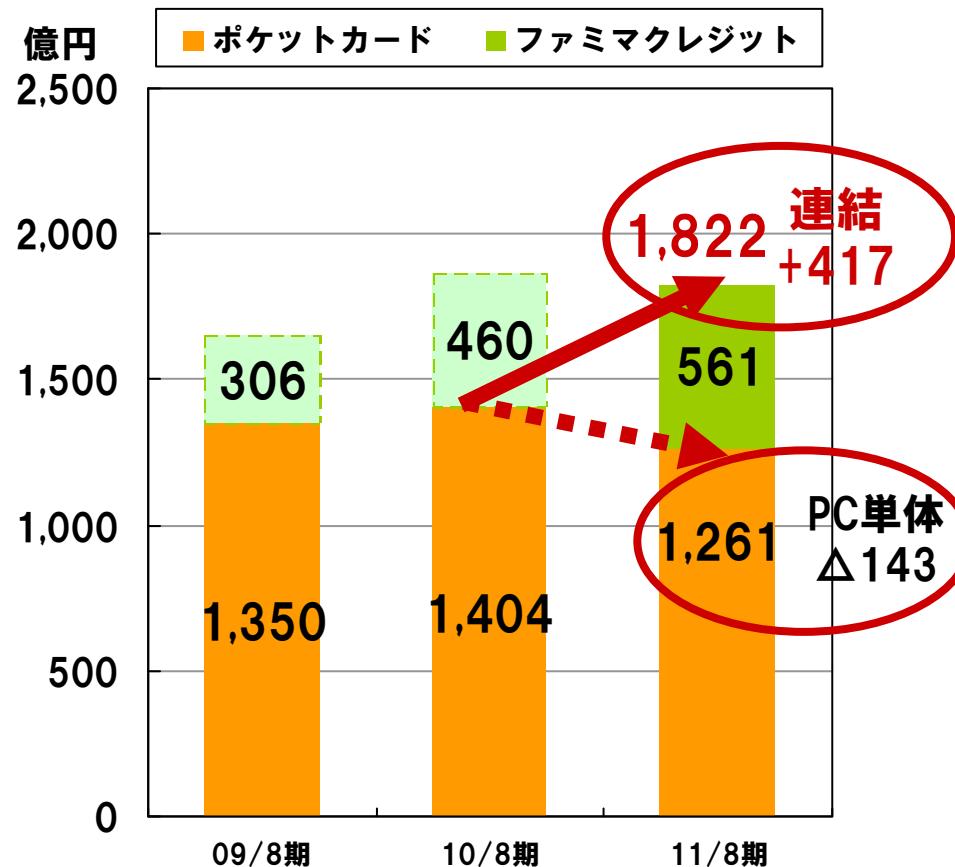
単位：百万円

	項目	11年8月期	前年同期差	前年同期比
①	信用購入あっせん	7,651	+2,885	+60.5%
②	融資	9,238	△1,273	△12.1%
③	その他	1,231	+533	+76.5%
	プロセシング	—	△2,294	—
④	営業収益合計	18,121	△149	△0.8%

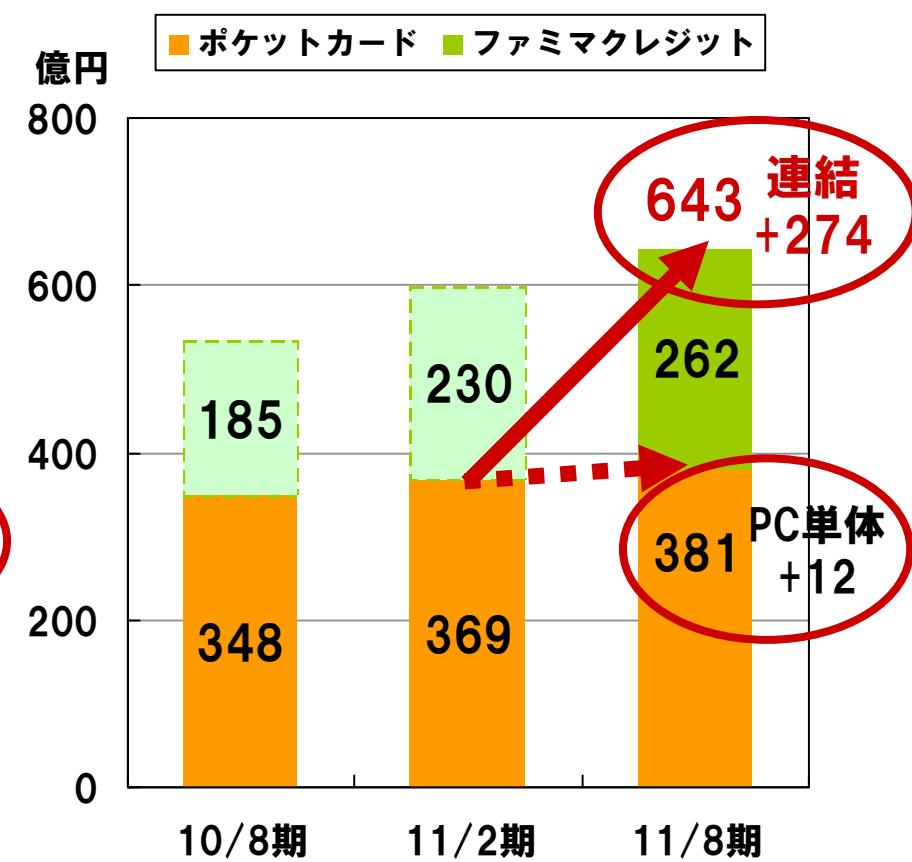
※当期より連結財務諸表を作成しているため、前年同期との比較対象として
個別財務諸表の数値を使用しております。

単体では取扱高は減少、リボ残高は微増
FMCとの統合効果により両指標ともに大幅増に

1. ショッピング取扱高

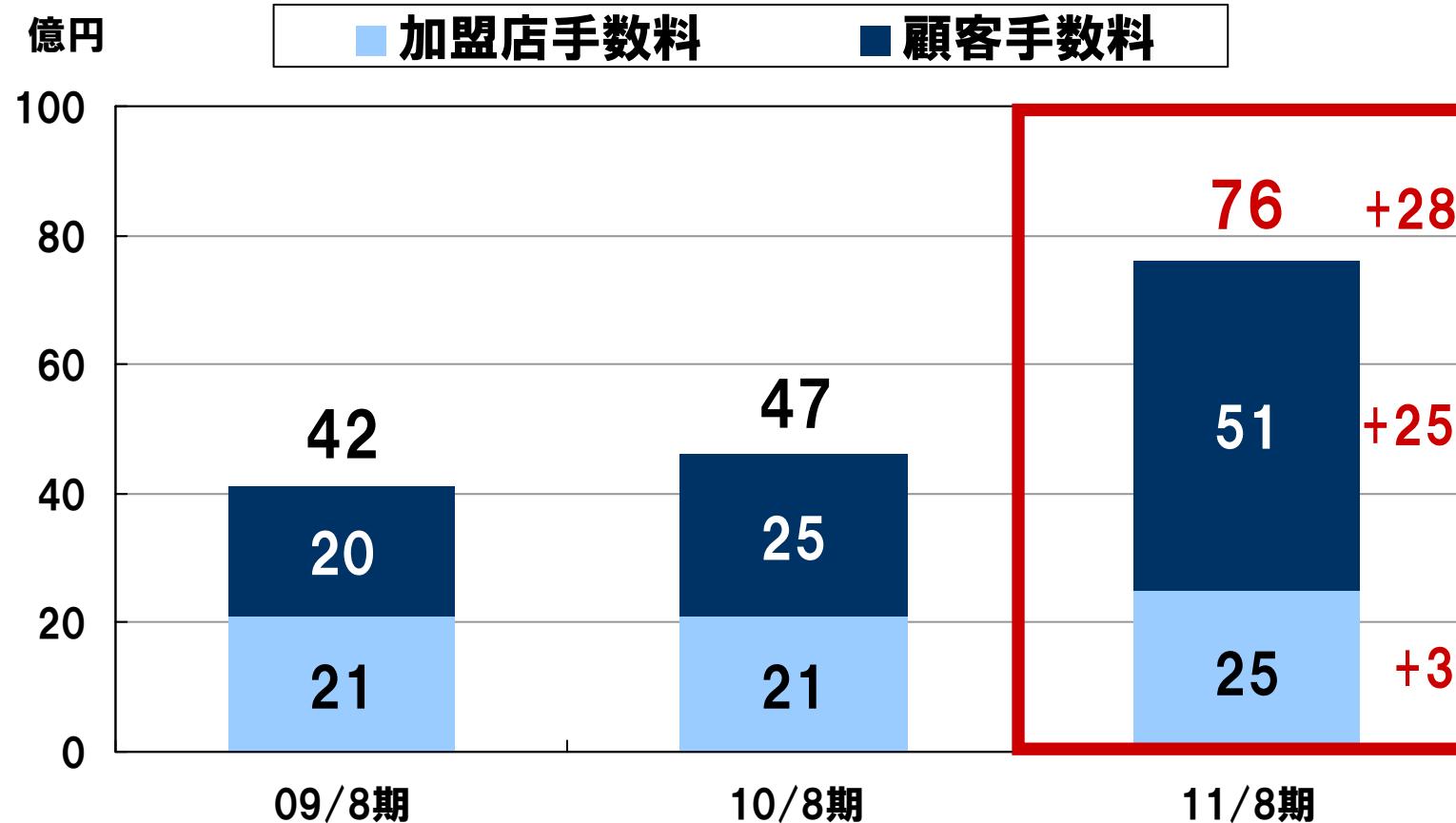


2. ショッピングリボ残高



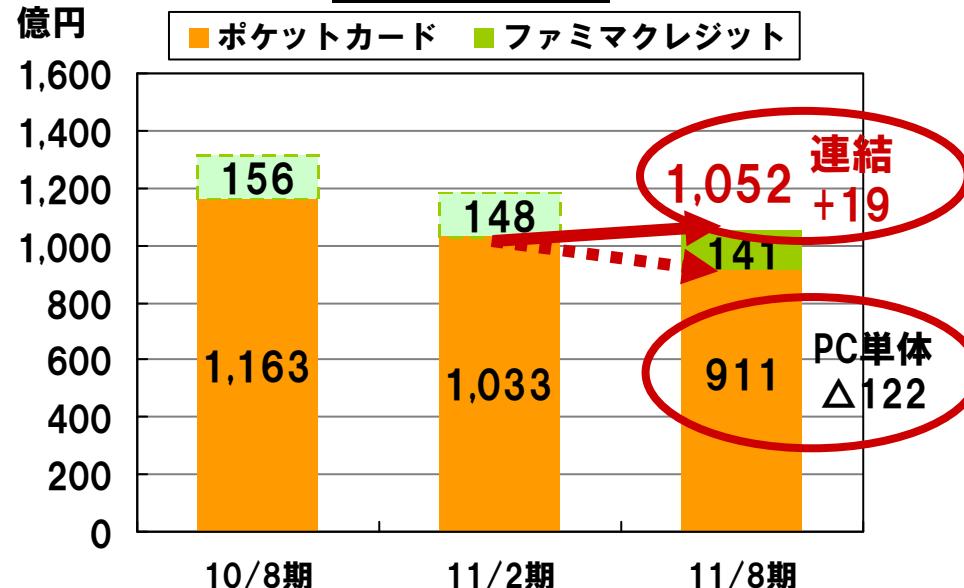
ファミマクレジットの連結取り込みにより大幅に増加

1. 信用購入あっせん収益推移

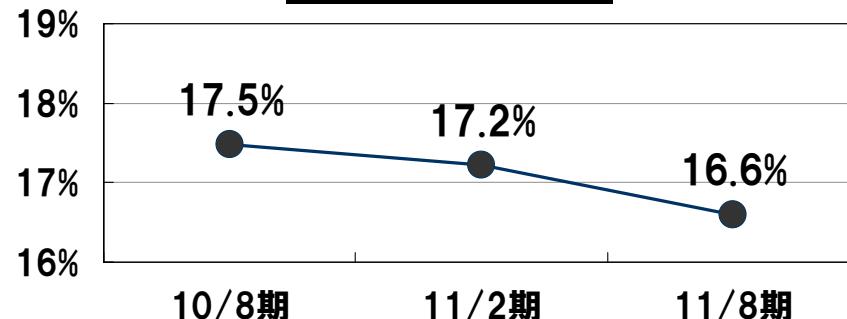


総量規制影響により残高、収益共に減少するものの
統合効果により減少幅は縮小

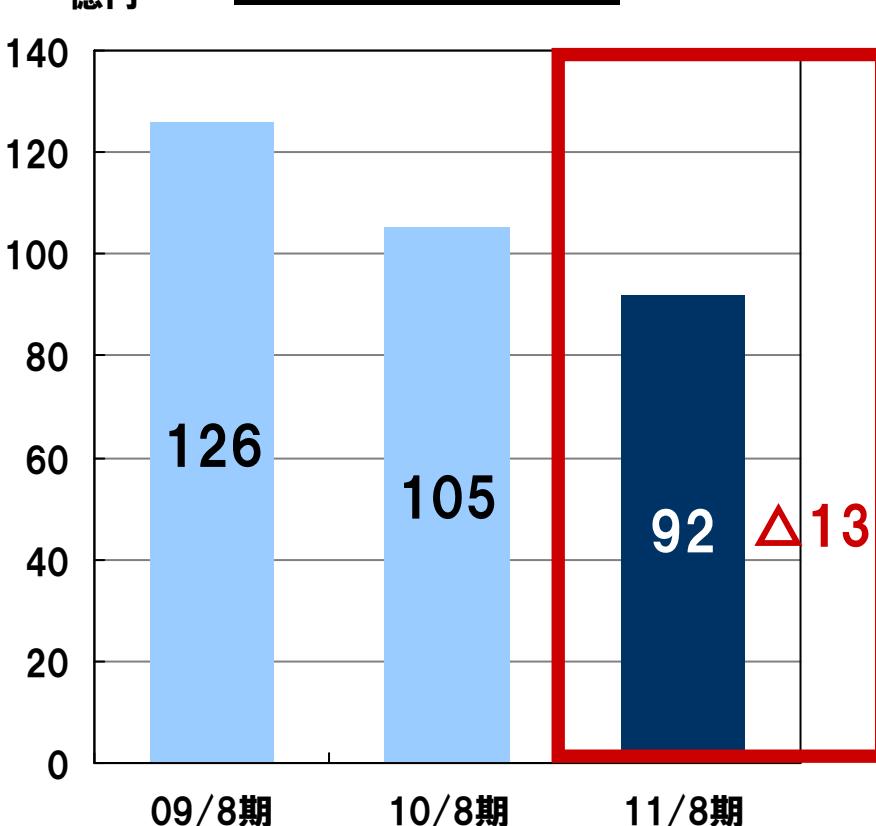
1. 融資残高



2. 平均利回り

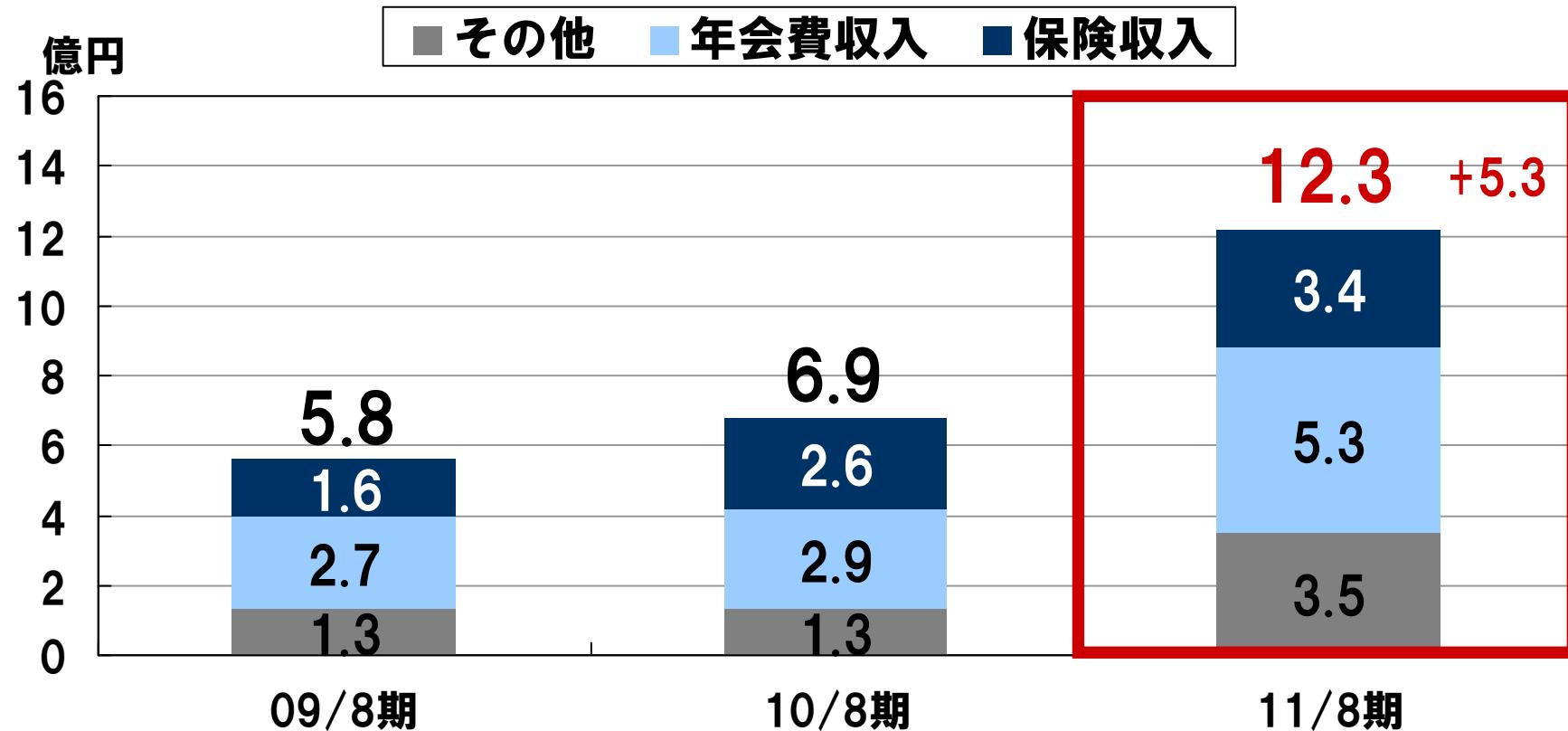


3. 融資収益推移



年会費、保険収入がその他収益拡大の牽引役に

1. その他収益推移



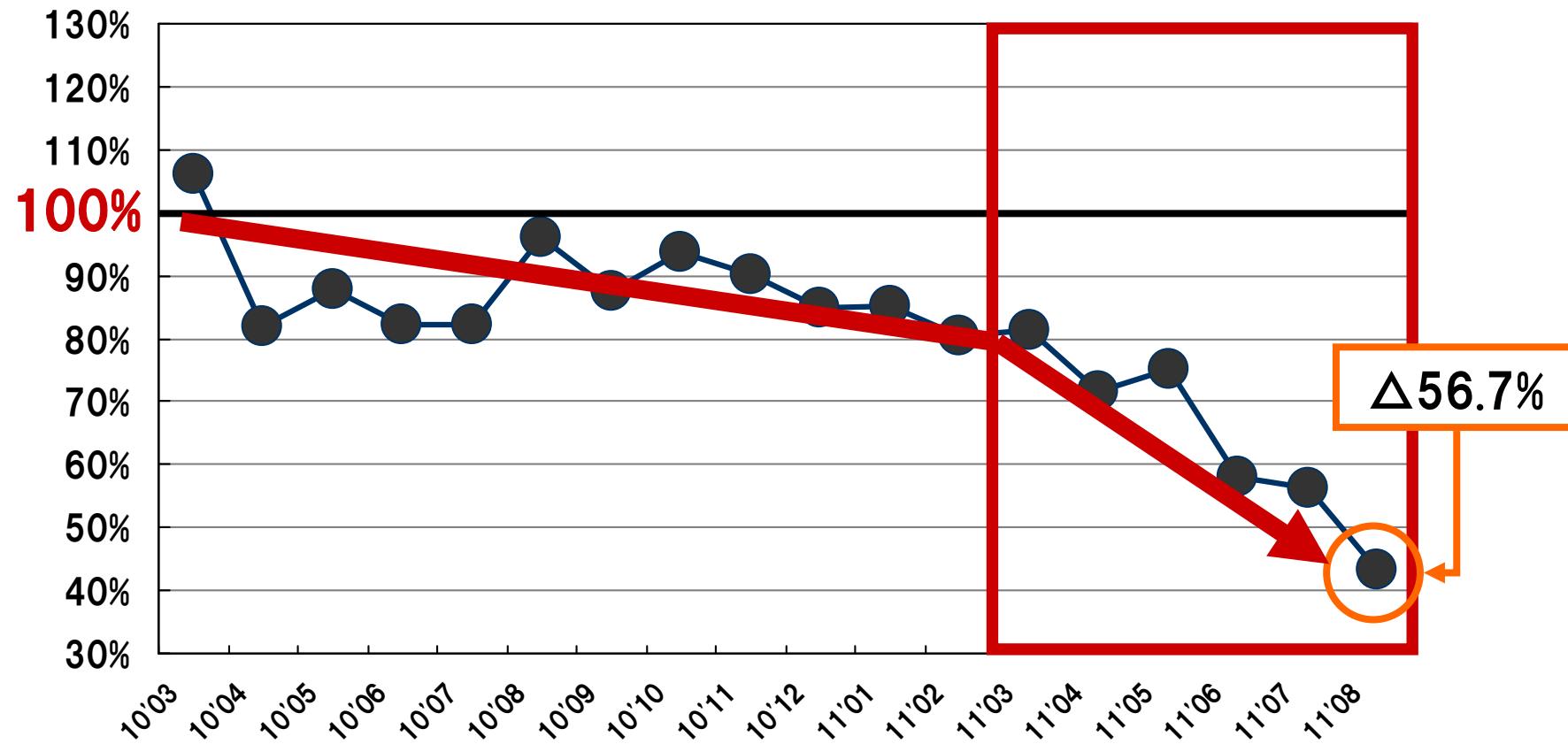
単位：百万円

	項目	11年8月期	前年同期差	前年同期比
①	金融費用	1,583	△121	△7.1%
②	販売管理費合計	14,168	△1,607	△10.2%
③	貸倒・利息返還関連費用	4,756	△1,110	△18.9%
④	その他販管費	9,411	△498	△5.0%
⑤	営業費用合計	15,752	△1,728	△9.9%

※当期より連結財務諸表を作成しているため、前年同期との比較対象として
個別財務諸表の数値を使用しております。

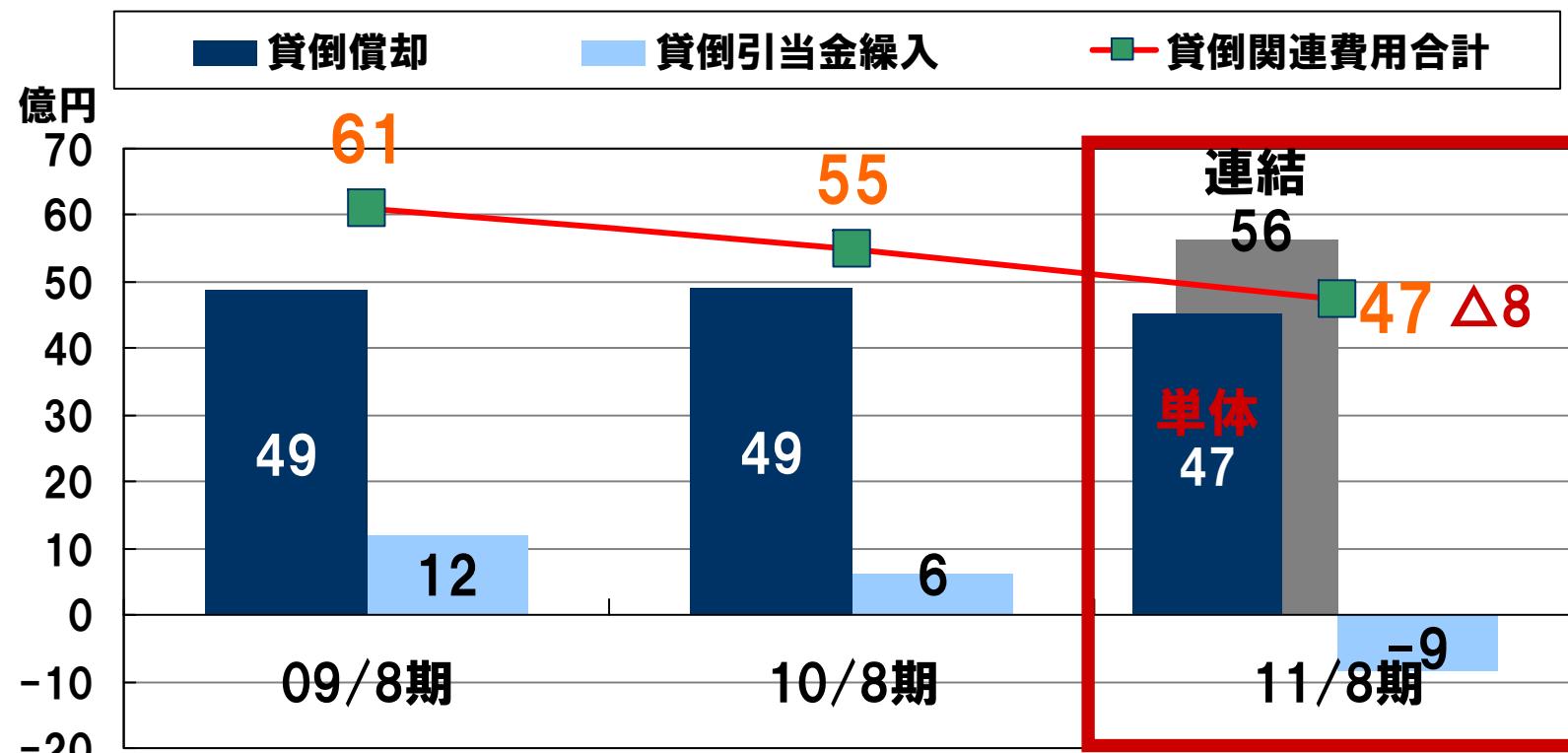
前年同月を大きく下回る水準で推移

1. 新規介入件数推移 (前年同月比)



新規介入の減少に伴い引当金繰入が減少

1. 貸倒関連費用推移

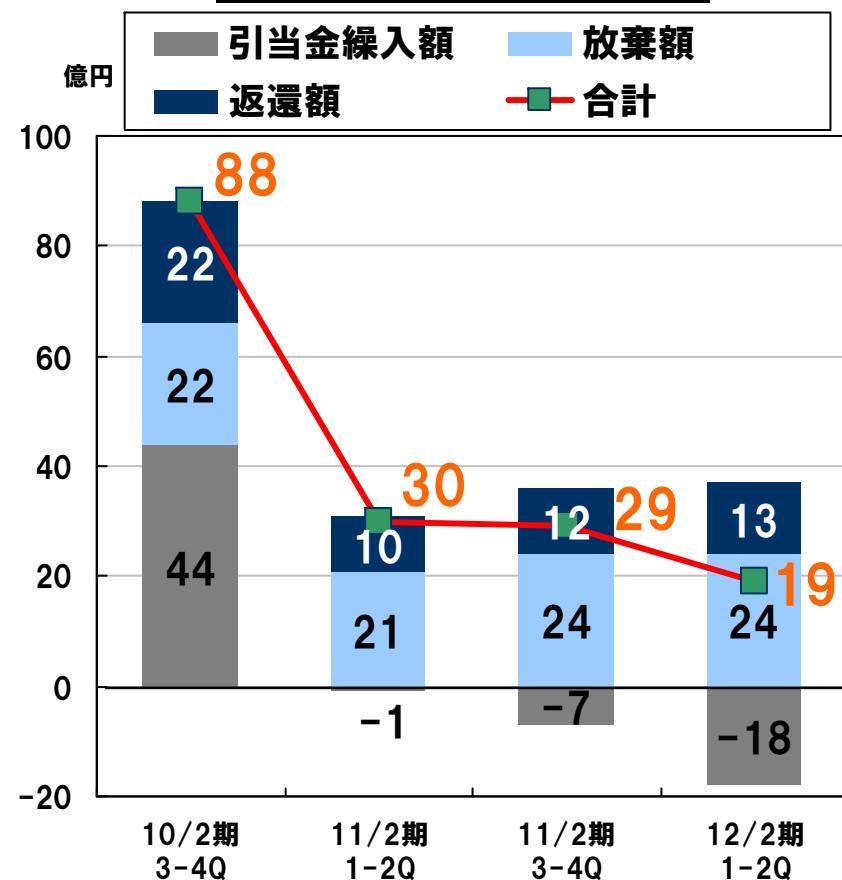


※1 利息返還に伴う債権放棄含む

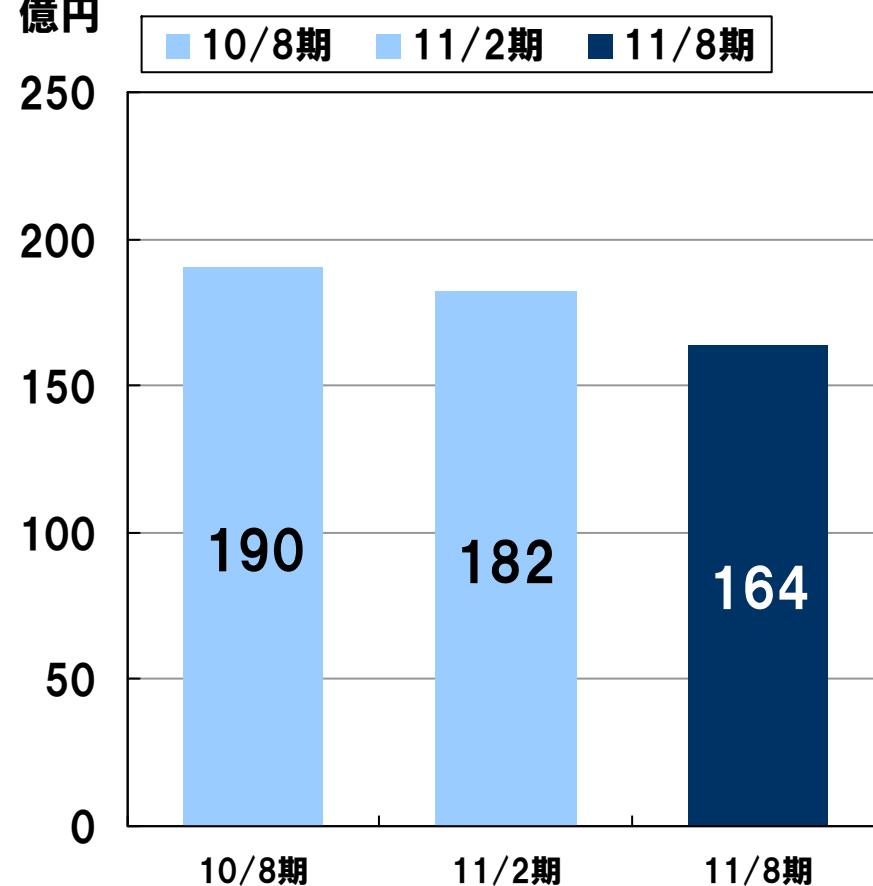
※2 利息返還に係る貸倒引当金繰入含む

引当年数は2.2年と引き続き安定した水準を維持

1. 利息返還関連費用

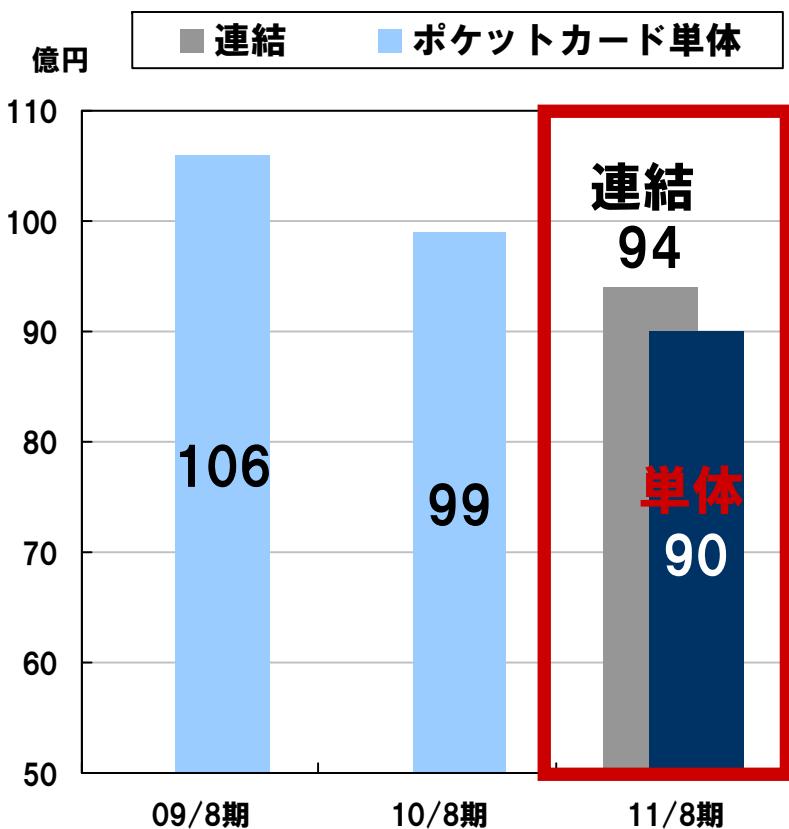


2. 利息返還関連引当金



各種コスト削減の進展および 震災影響による販促費用のずれ込み等により減少

1. その他販管費推移

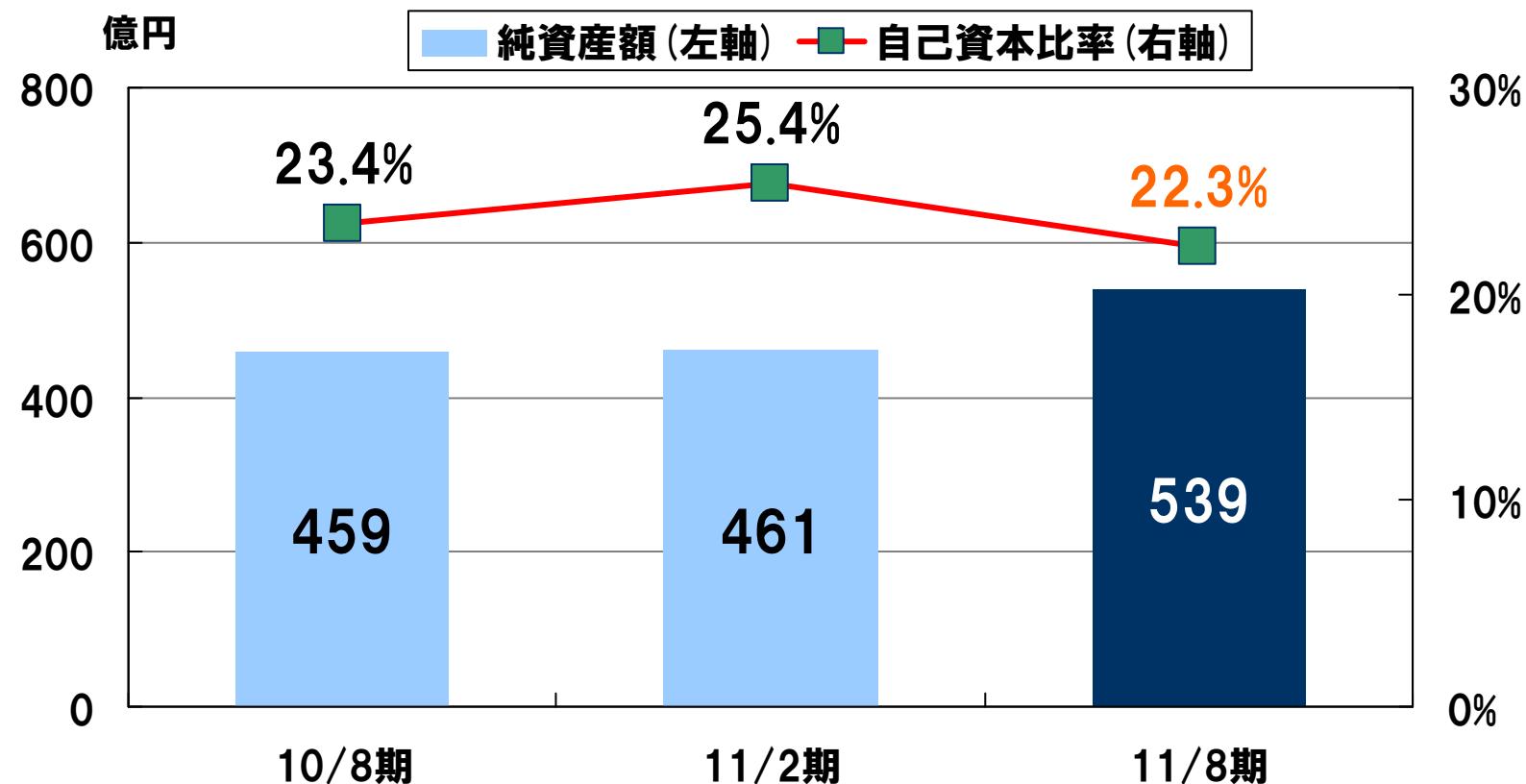


2. 主な削減ポイント

- 震災影響による費用のずれ込み
 - ・販促施策の延期または中止に伴い一部の費用が下期へずれ込み
- 各種コスト削減の進展
 - ・明細書のハガキ化、WEB化
 - ・ATM代行手数料の減少

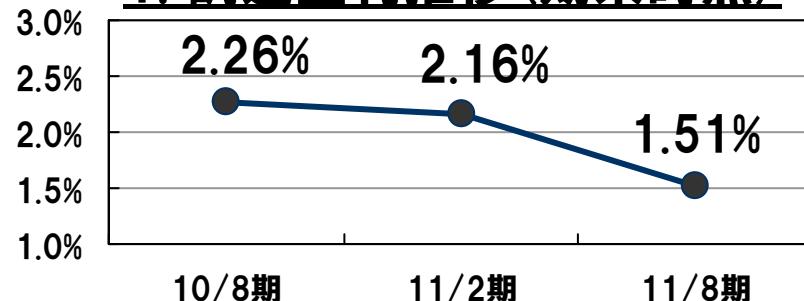
ファミマクレジット連結子会社化後も
純資産、自己資本比率は引き続き安定水準を維持

1. 純資産／自己資本比率推移

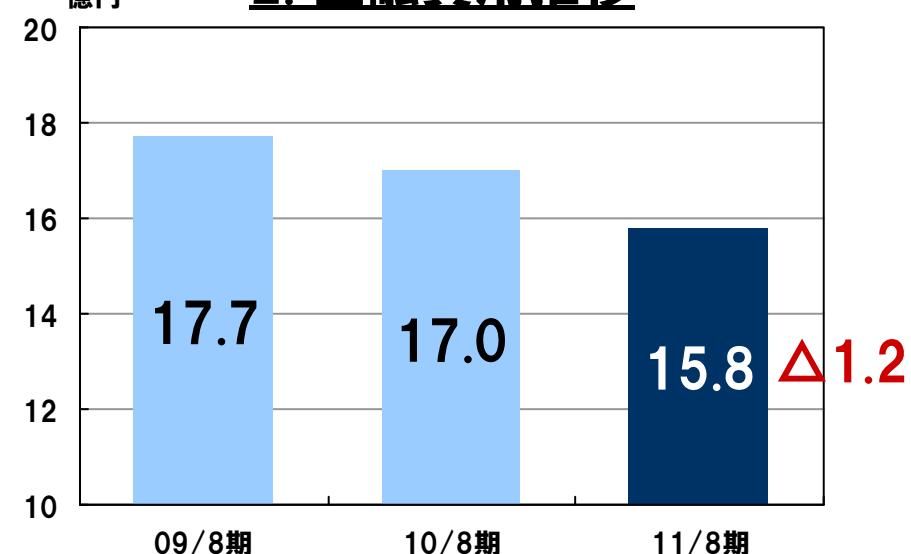


業績改善、資本構成の変化により財務環境は改善 調達金利の低下等により金融費用は減少

1. 調達金利推移 (期末時点)



2. 金融費用推移



3. 財務関連トピックス

■ 格付

- JCR、R&Iの格付見通し、方向性が「ネガティブ」から「安定的」に

■ 調達環境

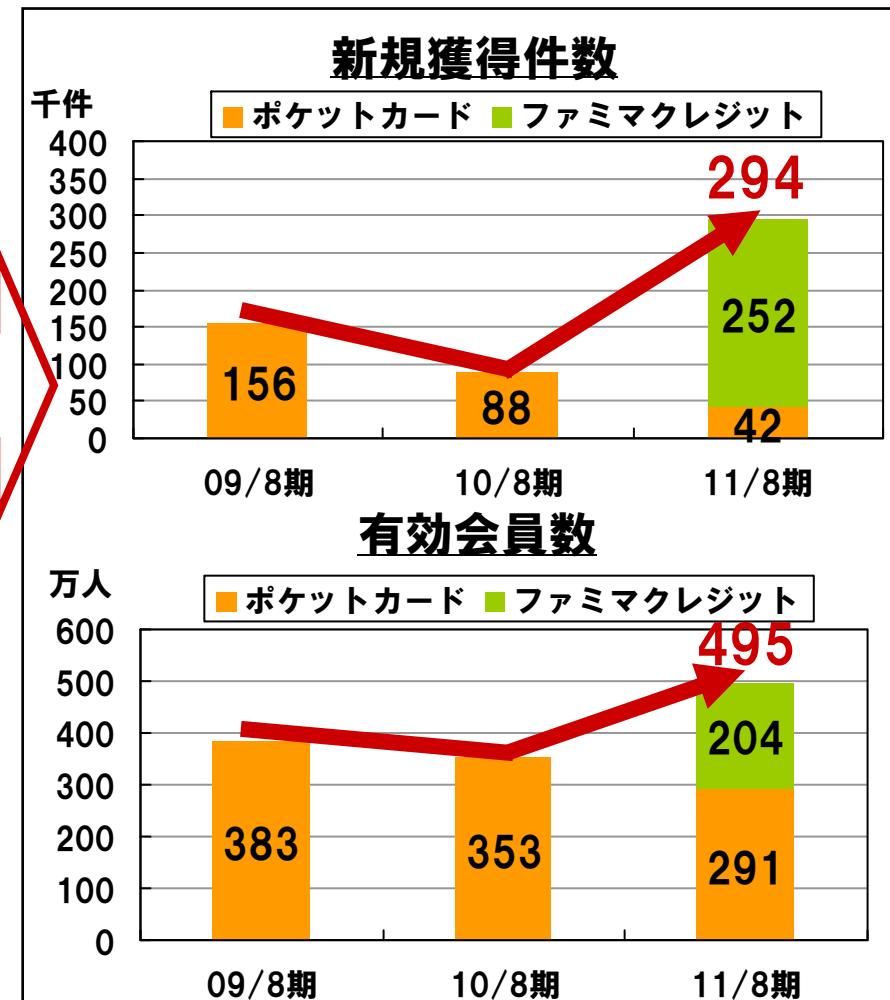
- 新規取引銀行の拡大
- コミットメントライン設定

FMCとの経営統合により営業基盤が拡大

1. 営業数値ハイライト

	11/8期	前年同期差
新規獲得件数 (千件)	294	+205
有効会員数 (千人)	4,957	+1,427
利用会員数 (千人)	1,170	△128
年間利用率	36.3%	+1.0pt
月間利用率	24.5%	+2.0pt

※利用会員数、年間利用率、月間利用率は
ポケットカード単体の数値



2011年度下期経営方針

業績予想の修正について

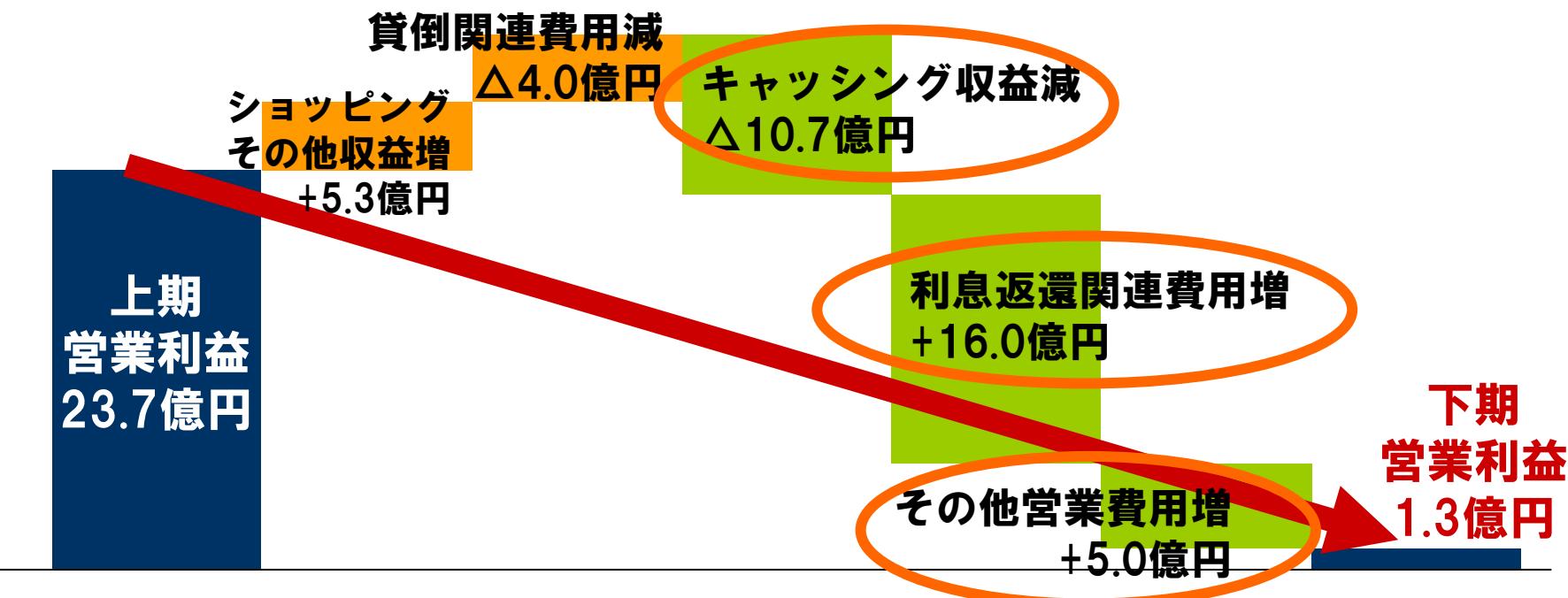
単位：百万円

	11/8期	12/2期 (e)	期初予想	差異
営業収益	18,121	35,700	37,300	△1,600
営業利益	2,369	2,500	1,400	+1,100
経常利益	2,321	2,500	1,400	+1,100
当期純利益	1,831	1,600	1,000	+600

営業利益 上期/下期 差異要因

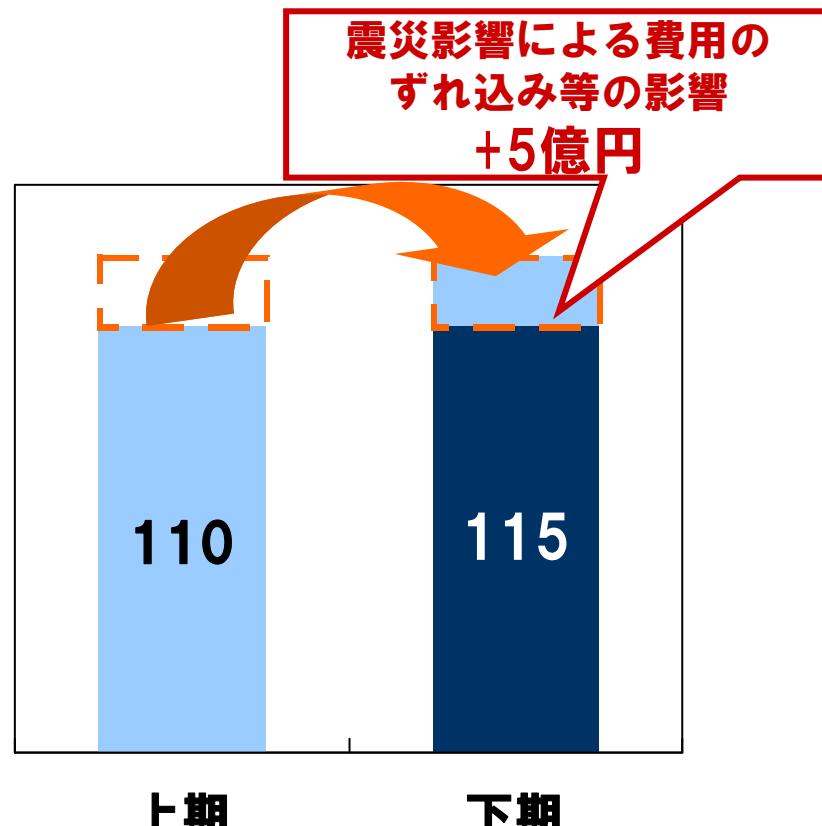
融資収益の減少、利息返還関連費用の高止まりにより
上期と下期に大幅な差異が生じる見込み

	上期	下期	差異
営業利益	23.7億円	1.3億円	△22.4億円



震災影響等により一部費用が下期にずれ込んだものの
通期では期初予想対比で12億円下振れ

1. 上期/下期差異



2. 計画差異

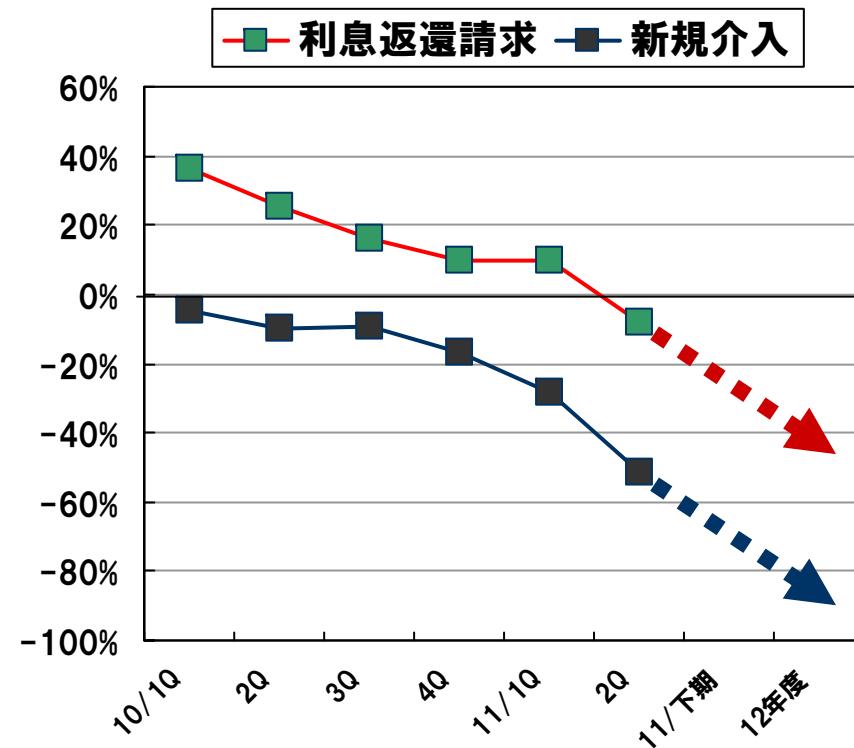
	期初予想	修正後*	差異
上期	120	110	△10
下期	117	115	△2
通期	237	225	△12

下期は利息返還引当金を一定繰入れるものの
請求件数、介入件数動向を踏まえ通期では引当金は減少

1. 利息返還関連費用推移

	上期	下期	差異	通期
返還金	13.7	12.7	△1.0	26.4
引当金 繰入	△13.2	3.5	+16.7	△9.7
合計	0.5	16.2	+15.7	16.7

2. 利息返還請求/新規介入件数 前年同月比推移



1

バランスのとれた収益構造の実現

1-1 ショッピングリボの継続強化

1-2 キャッシング残高の減少幅縮小

1-3 その他収益のさらなる拡大

2

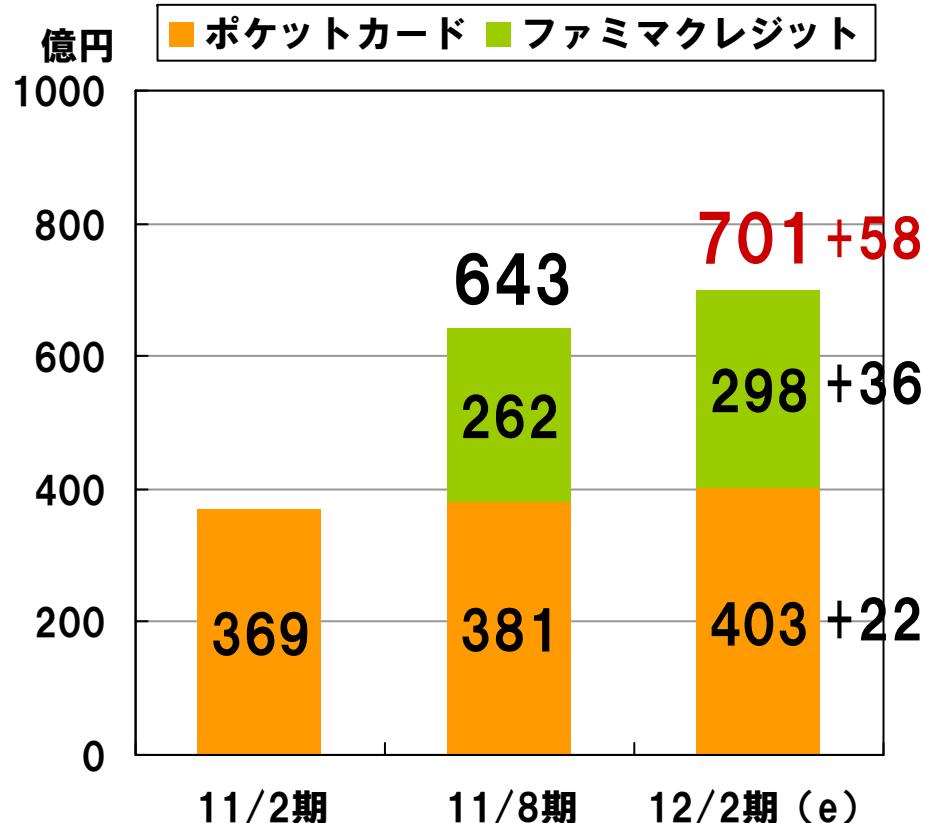
業務効率化・コスト削減の継続的な実施

3

ファミマクレジット社との合併に向けた取り組み

ショッピング取扱高の伸張をてこに 継続的なリボ残高の拡大を目指す

1. ショッピングリボ残高推移



2. 下期重点施策

■ ショッピング取扱高の増加

- ・P-oneモールでのポイント施策
- ・加盟店手数料率が高い業態でのポイント施策
- ・ヘビーユーザー向け増枠施策

■ ショッピングリボ利用の促進

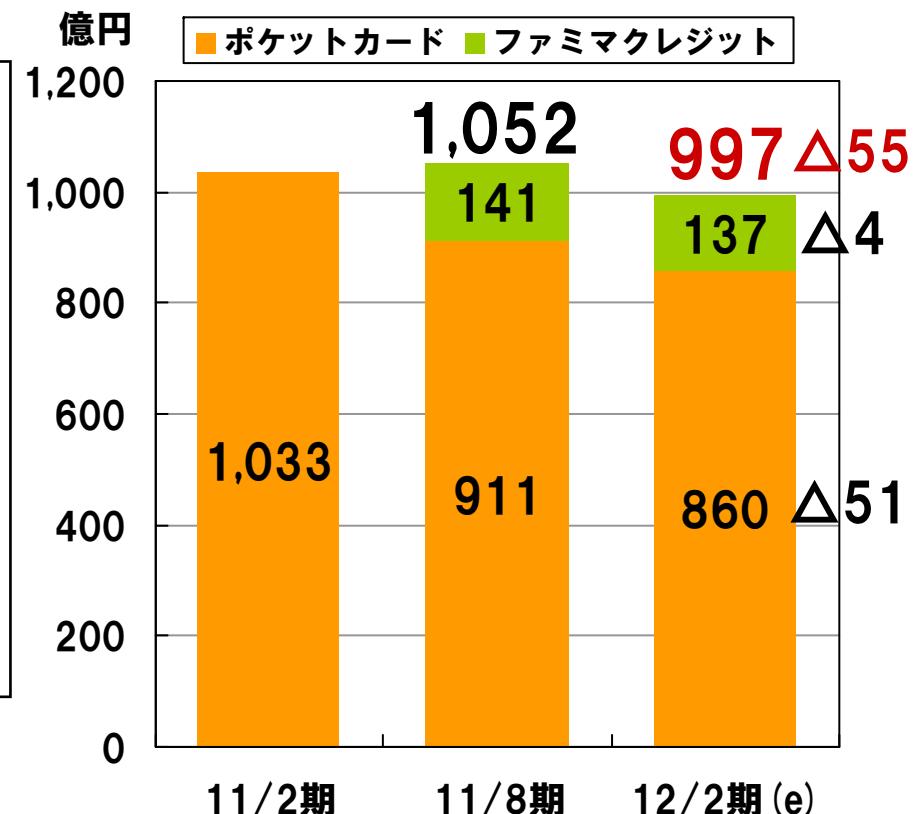
- ・スコアリングツールを活用した販促
- ・3法人共同キャンペーンの実施

取扱高動向の反転に伴い融資残高の減少幅が縮小

1. 2011年度重点施策

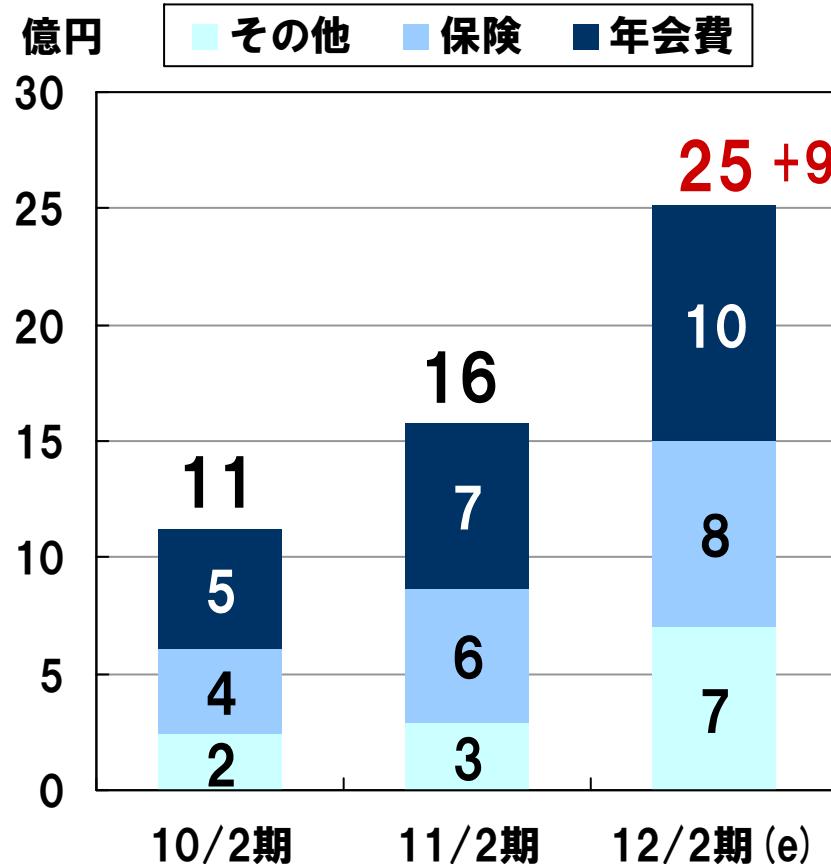
- ビジネスセンターを新設し、個人事業者向けローンを強化
- キャッシング増枠施策を再開
- 優遇金利施策の実施
- 総量規制対象から対象外となった顧客へのアプローチ

2. 融資残高推移



年会費、保険収入等の新たな事業収入を拡大

1. その他収益推移



2. 下期重点施策

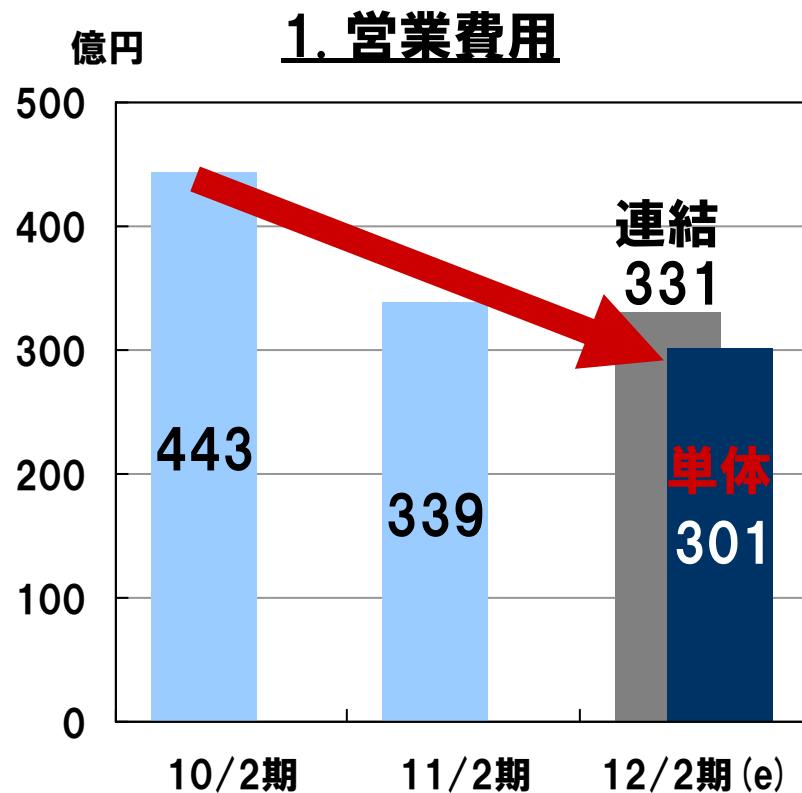
年会費収入拡大

- ・ゴールドカード獲得促進
- ・既存カードへの年会費徴収プラン継続

保険収入拡大施策

- ・スコアリングツールを活用した販促
- ・WEB/訪問アポ等、多方面で促進
- ・少額保障商品の導入により
サービスフィー拡大

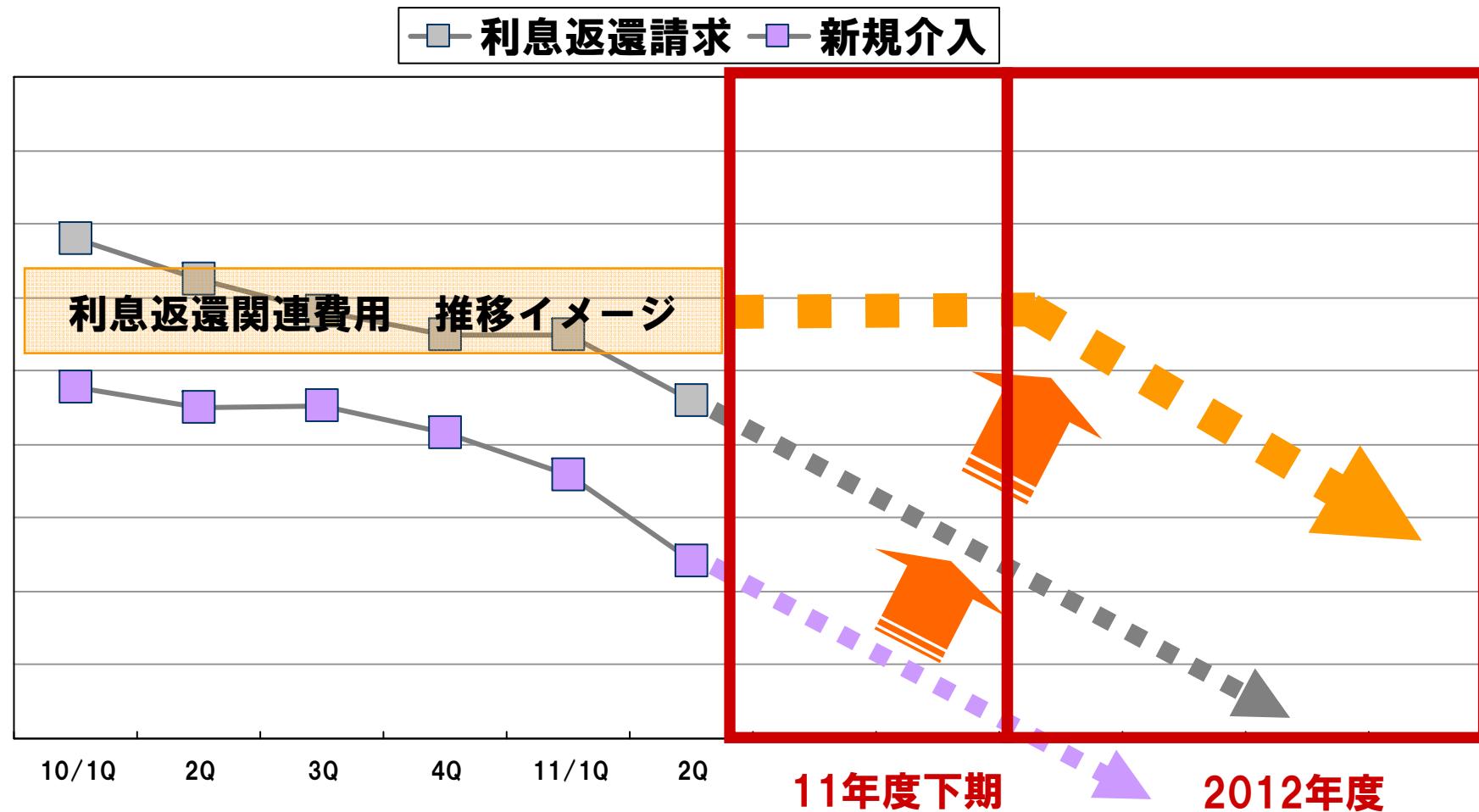
継続的なコスト削減の実施により利益水準を拡大



2. 下期重点課題

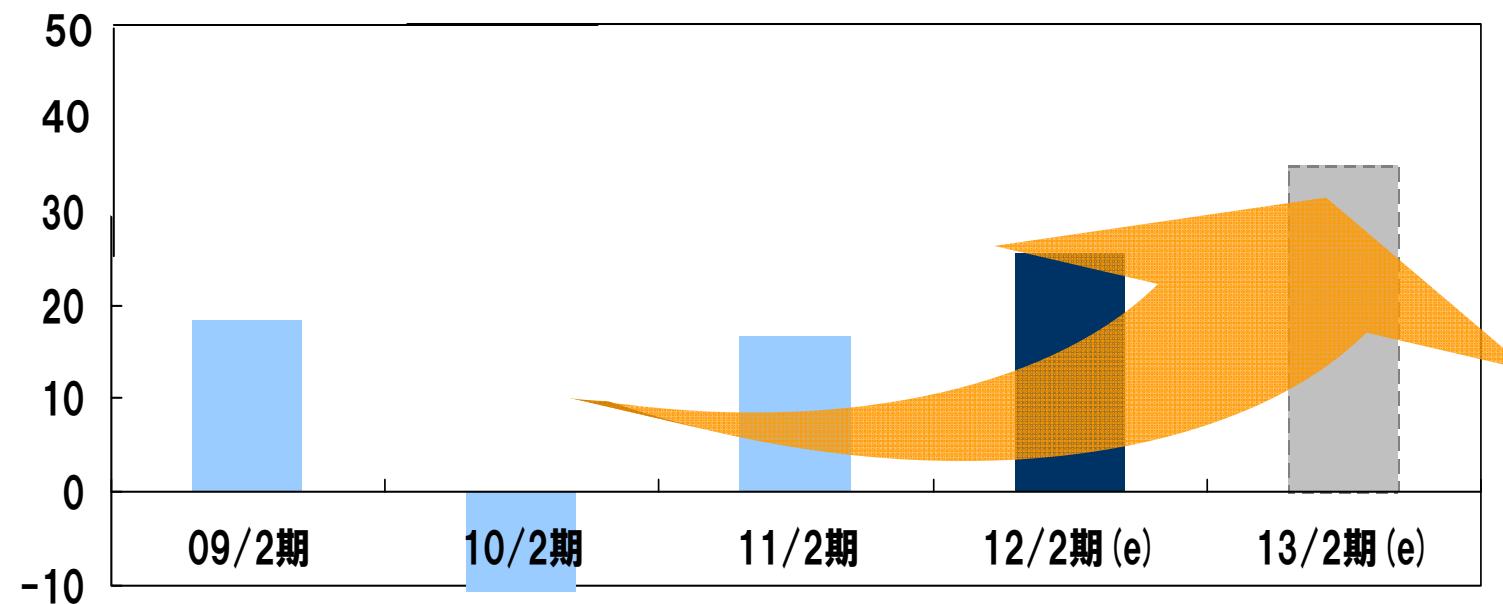
- 従来からの施策を継続的に実施
 - ・特典、サービスの最適化
 - ・個別提携先との条件見直し
 - ・業務効率化への意識向上
 - ・人材の最適配分による効率化

新規介入/利息返還請求動向を踏まえ
来期以降の費用負担は減少する見込み



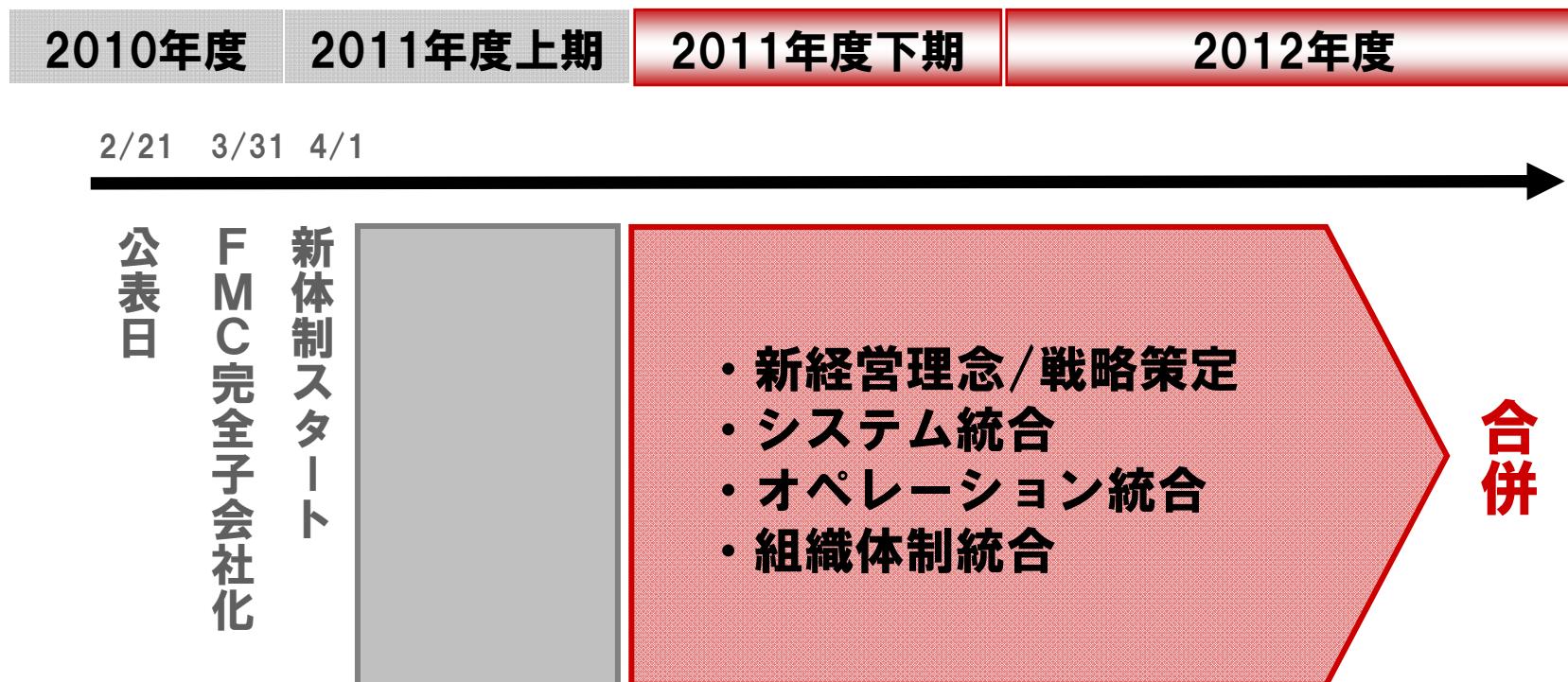
来期以降、費用削減の進展を主因に利益水準は改善

	12/2期 (e)	前期差
営業収益	357 億円	+1 億円
経常利益	25 億円	+8 億円
当期純利益	16 億円	+3 億円



子会社化から半年が経過、合併に向け引き続き注力

合併スケジュール



◆本日の説明会に関するご質問、個別IRミーティング
開催のご希望、その他IRに関するご質問
などございましたら下記までご連絡ください。

〈IRに関するお問い合わせ先〉

経営企画部 IR・広報担当 廣田・外崎

TEL : 03-5441-3450 FAX : 03-5441-1231

E-mail : koho@pocketcard.co.jp

弊社IRホームページ
<http://www.pocketcard.co.jp/ir/>